

関連会社紹介

韓国合弁企業—大新工業(株)

大新工業は1983年12月12日に韓国浦項綜合製鐵(株)浦項製鐵所(所在地:慶尚北道浦項市)の協力企業の認定を受けて(株)浦項工作所として設立された。

同社は連続鑄造設備の各種ロールの肉盛溶接、熱処理、機械加工や焼結設備の鬼齒、受齒の白銑鑄掛溶接、耐摩耗ライナー類の肉盛を主力とする溶接メーカーである。

(株)フジコーは日本国の協演工業殿、韓国の大天実業(輸出入業務担当商社)の他数名の個人投資家と合弁を組み、溶接技術とC.P.C半成品の組立加工技術等々の技術供与契約を結び施工技術、ノーハウの転移をはかってきました。

1984年1月には契約改更し肉盛ハイスロールの施工技術(弊社の溶材FT-X3によるショアカタサ100°超の肉盛技術)や捲取設備周辺ロールとしてユニットロールの焼嵌組立技術を供与し、高付加価値製品へと展開してきています。

この間 POSCO 殿が第二製鐵所として光陽製鐵所を新設するに至り、大新工業も光陽工場を新設し二工場体制に拡張してきました。

従業員数は合計121名(現業職86名)資本金20億ウォン、生産高は90億ウォン/年(12億~15億円/年)まで成長してきています。

当社からの輸出品はC.P.C複合スリーブシエル(ホットランテーブル、ユニットスリーブ、ルーパースリーブなど)溶材類(白銑粒、白銑棒、FT-Xシリーズのワイヤー、ステンレス鋼用ボンドフラックス)があげられます。



▲所在地図

